

実り豊かな生活文化都市

2021
(令和3年)



広報

ちゅうおう

11

No.189

笑顔輝く
スポーツの祭典!



特集 市の家計簿を公表します

田富中学校の学園祭の様子(詳細19ページ)

令和2年度決算報告

市の家計簿を

公表します

➡問合せ 財政課 ☎274—8513

令和2年度の一般会計・特別会計および企業会計の決算がまとまり、9月の定例議会において承認されました。この1年間で、市民、企業のみなさんが納めた貴重な税金と、国・県からの補助金や地方交付税などが、どのくらい入り、どのように使われたのか、その概要をお知らせします。

※1万円未満は四捨五入しています。端数処理のため、合計と内訳の積み上げが一致しない場合があります。

令和2年度一般会計決算

一般会計の決算額は、歳入総額186億5,549万円（対前年度比22億1,862万円、13.5%の増）、歳出総額171億4,817万円（対前年度比22億7,322万円、15.3%の増）、歳入歳出差引総額15億732万円（対前年度比5,461万円、3.5%の減）となりました。

普通会計決算額（公営事業会計以外の会計を合わせた数値）により算出した中央市の財政状況を表す数値は、以下のようになりました。

▶ 経常収支比率 87.7%

この数値は市の財政構造の弾力性を判断するための指数です。人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に対して、地方税、普通交付税のような経常的な収入がどの程度充当されているのかを比率で表しています。

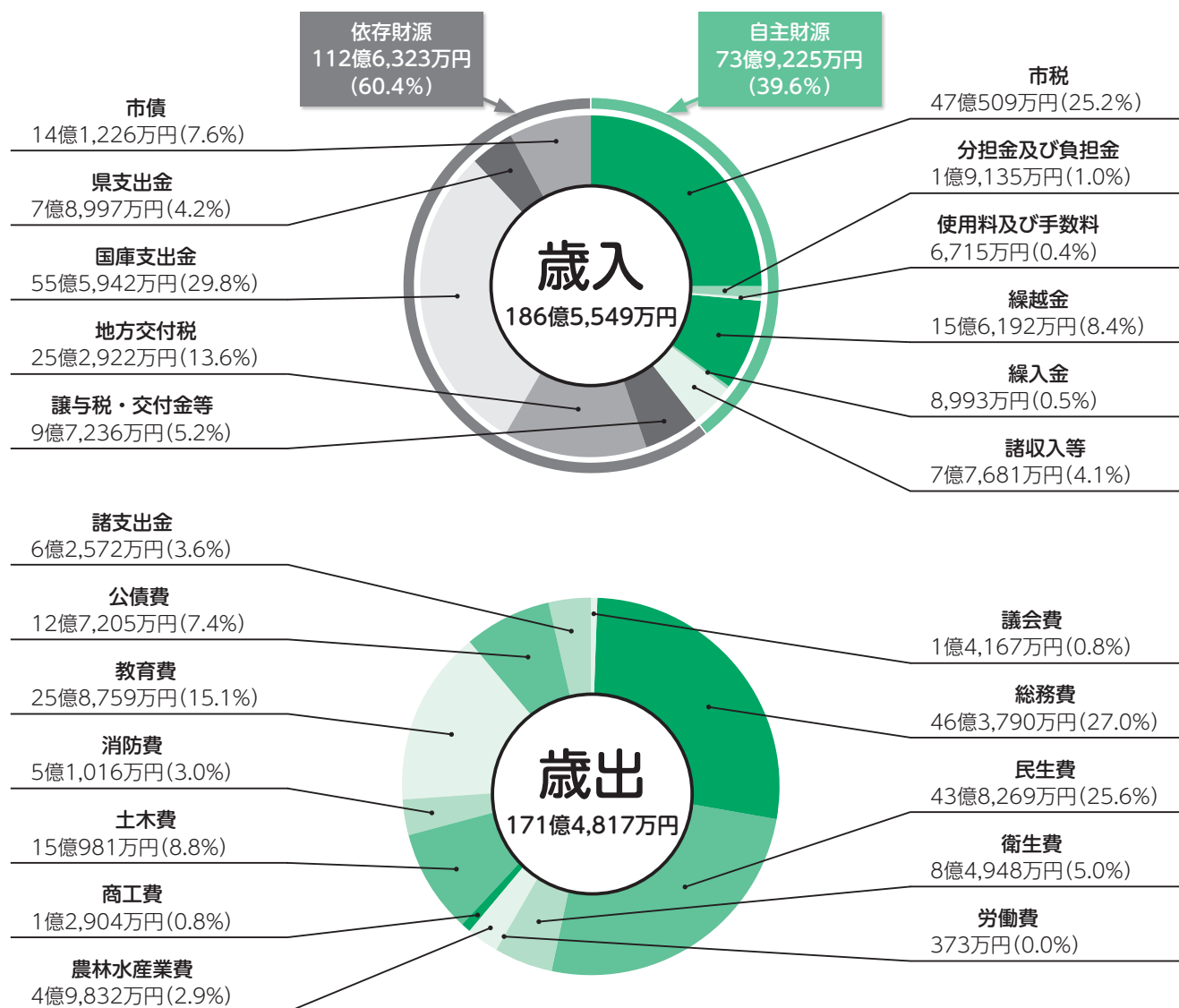
数値が高いほど、新規事業や臨時的事業に使える財源に余裕がなく、財政構造の弾力性が低いことになります。令和元年度は88.8%でした。

▶ 財政力指数 0.68

この数値は市の財政力の強弱を示す数値です。地方交付税法に定められた方法で計算した「標準的な地方税収」を「行政事務の必要経費」で割った数値の過去3年間の平均値です。

上記の経常収支比率とは反対に数値が高い（1.00に近いあるいは1.00を超える）ほど、財政に余裕があるとされています。令和元年度は0.69でした。

一般会計の歳入と歳出



会計別歳入歳出決算総括表

会 計 名	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額
一 般 会 計	186億5,549万円	171億4,817万円	15億732万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	29億9,863万円	29億7,073万円	2,790万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	2億9,319万円	2億9,109万円	210万円
介 護 保 険 特 別 会 計	21億4,762万円	20億1,406万円	1億3,356万円
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 特 別 会 計	1,174万円	1,174万円	0万円
田 富 よ し 原 処 理 セ ン タ ー 事 業 特 別 会 計	1億4,131万円	8,479万円	5,652万円

会 計 名	区 分	決 算 額
上 水 道 事 業 会 計	収益的收入	2億8,536万円
	収益的支出	2億3,865万円
	資本的收入	7,500万円
	資本的支出	3億252万円
簡 易 水 道 事 業 会 計	収益的收入	1億5,212万円
	収益的支出	1億7,473万円
	資本的收入	1億6,090万円
	資本的支出	9,037万円

会 計 名	区 分	決 算 額
公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的收入	8億1,340万円
	収益的支出	7億6,410万円
	資本的收入	7億1,025万円
	資本的支出	7億9,549万円
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	収益的收入	2億5,815万円
	収益的支出	2億3,887万円
	資本的收入	9,792万円
	資本的支出	1億3,141万円

地方債と基金の残高状況

地方債(市の借金)の残高

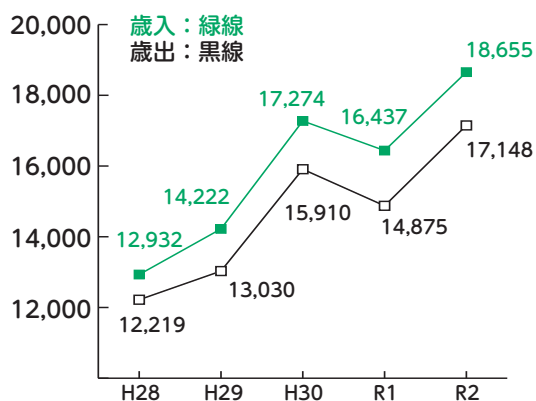
会 計 名	金 額
一 般 会 計	172億7,375万円
簡易水道事業会計	11億7,957万円
公共下水道事業会計	69億6,022万円
農業集落排水事業会計	10億3,549万円
上水道事業会計	24億6,910万円
合 計	289億1,813万円

基金(市の貯金)の残高

基 金 名	令和2年度末現在高	令和2年度中増減
財政調整基金	27億8,398万円	1億9,069万円
減債基金	3億9,627万円	16万円
公共施設等整備基金	11億2,494万円	3億9,376万円
リニア沿線公共施設等移転整備基金	2億1,274万円	△5,681万円
まちづくり振興基金	16億9,778万円	△1,266万円
ふるさと応援基金	2億4,368万円	3,873万円
地域福祉基金	2億4,560万円	0万円
地域活性化基金	1,012万円	1万円
農業経営者育成資金貸付基金	1,834万円	0万円
森林環境譲与税基金	347万円	192万円
土地開発基金	5億5,573万円	2万円
国保財政調整基金	2億291万円	7,751万円
介護保険給付準備基金	2億6,818万円	1,950万円
簡易水道事業財政調整基金	—	△1,221万円
田富よし原処理センター施設事業基金	1億6,244万円	△1,155万円
合 計	79億2,618万円	6億2,907万円

決算の分析

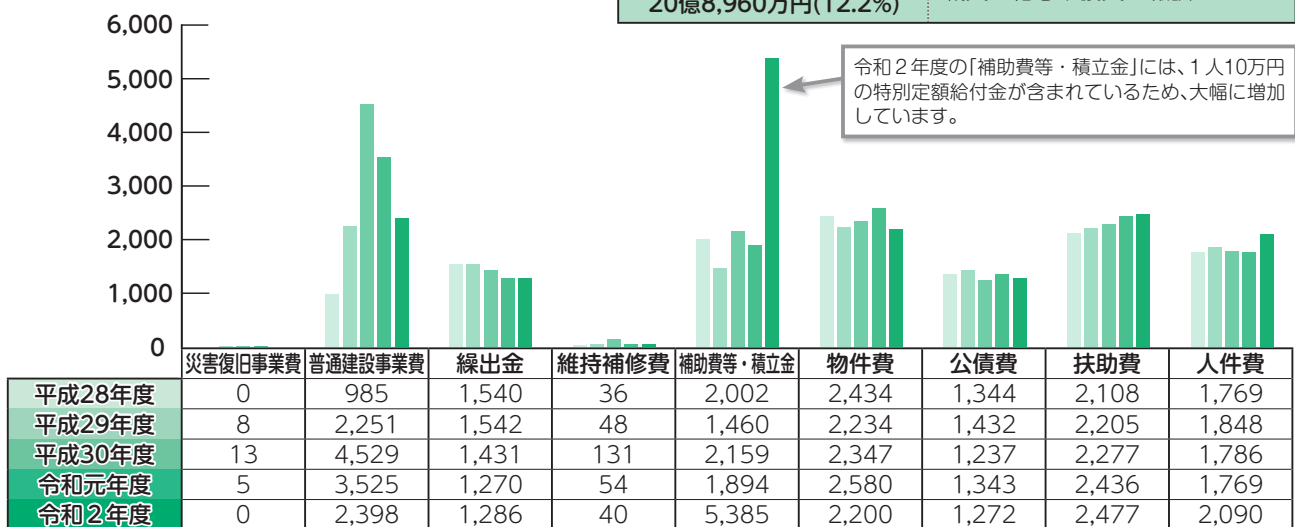
過去5年間の決算額の推移(単位: 百万円)



歳出性質別分析(歳出総額171億4,817万円) ※()は構成比

災害復旧事業費 0円(0.0%)	災害により道路などに被害が発生した場合の費用
普通建設事業費 23億9,752万円(14.0%)	公共施設の建設事業
繰出金 12億8,606万円(7.5%)	特別会計への支払い
維持補修費 4,001万円(0.2%)	道路や施設の補修
補助費等・積立金 53億8,536万円(31.5%)	交付している補助金や市の将来のための貯蓄
物件費 22億13万円(12.8%)	物品の購入や業務の委託料など
公債費 12億7,205万円(7.4%)	市債の元金や利子
扶助費 24億7,743万円(14.4%)	社会保障に要する経費
人件費 20億8,960万円(12.2%)	職員の給与や議員の報酬

過去5年の歳出額の性質別費用の比較(単位: 百万円)



市民 1 人に使われる金額はいくら？

ここでは、各決算数値において中央市の人口 1 人あたりに換算すると
いくらになるのかを計算しています。

なお、人口は令和 2 年度末の人口である 3 万 821 人を用いています。



総務費
150,479円
 選挙や施設管理など
 市の全般的なことに
 支出される費用



民生費
142,198円
 主に福祉に関わる
 ことに支出される
 費用



議会費
4,597円
 議会運営や議員の
 報酬に支出される
 費用



労働費
121円
 労働者の雇用や支
 援に関わることに
 支出される費用



農林水産業費
16,168円
 農林水産業の振興
 に関わることに支
 出される費用



商工費
4,187円
 商工業・観光の振興
 に関わることに支
 出される費用



土木費
48,986円
 河川や道路、公園な
 ど公共のものに関
 わることに支出さ
 れる費用



消防費
16,552円
 消防や水防といった
 災害に関わることに
 支出される費用



教育費
83,955円
 学校や図書館、体育
 施設など、教育に関
 わることに支出さ
 れる費用



災害復旧費
0円
 災害により道路など
 に被害が発生した
 場合に支出される
 費用



公債費
41,272円
 地方債の返済に支
 出される費用



諸支出金
20,302円
 主に基金の積み立て
 に支出される費用

市民 1 人あたりの一般会計決算額

歳入 **605,285円**

市民 1 人あたりの預金額 **236,613円**
※基金残高(一般会計)合計 ÷ 人口

歳出 **556,379円**

市民 1 人あたりの借入金残高 **560,454円**
※地方債現在高(一般会計)合計 ÷ 人口

家計簿にたとえてみると…

市民 1 人あたりの決算額が家庭の家計簿だったら、「何に」「いくら」かかっているのでしょうか。市の収入と支出を家庭の家計簿に当てはめてみました。

収 入	
給料(市税)	152,659円
前月からの残金(繰越金)	50,677円
貯金からの引き出し(繰入金)	2,918円
銀行からの借り入れ(市債)	45,821円
パート収入(使用料及び手数料など)	8,387円
親からの援助(国庫・県支出金など)	288,071円
その他(交付金・諸収入など)	56,752円

支 出	
食費(人件費)	67,798円
医療費(扶助費)	80,381円
車・電化製品の修理(維持補修費)	1,298円
家の増改築(普通建設事業費)	77,789円
施設等の復旧(災害復旧事業費)	0円
物品の購入(物件費)	71,384円
離れて暮らす家族への仕送り(繰出金)	41,727円
ローンの返済(公債費)	41,272円
その他(補助費等・積立金)	174,730円

令和2年度に実施された主な事業

豊富小学校整備事業 4億7,896万円



昭和30年代に建設された普通教室棟の建て替えを行いました。令和3年5月より新校舎を利用しています。

総合防災公園建設事業 4億3,794万円



リニア中央新幹線の整備により廃止される田富ふるさと公園に代わる防災拠点としての機能を持った都市公園の整備を行っています。

市道田富玉穂大津線 道路整備事業 1億2,706万円



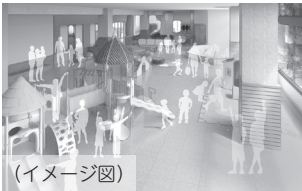
市内の交通網の強化のため、市内を東西に横断するアクセス道路を建設するための用地取得や延伸工事を行いました。

リニア建設に伴う 田富北小学校移転整備事業 6億8,116万円



リニア中央新幹線の整備に伴い、田富北小学校の移転事業を行っています。令和2年度には、新しい体育館とプールが完成しました。

子育て支援総合拠点 施設整備事業 1,596万円



旧玉穂庁舎の余剰スペースを子育て支援センターや、児童館として改修します。令和2年度に設計を行い、令和4年4月から供用開始予定です。

新型コロナウイルス感染症対策関連経費 36億7,966万円

感染拡大の防止に 要した費用 3億7,282万円

庁舎や保育園、学校などの公共施設における感染予防のための消耗品や備品の購入、トイレの洋式化や手洗い場の自動水栓化および市内医療機関への支援などを行いました。

個人の生活に対する 支援に要した費用 32億6,112万円

1人10万円の特別定額給付金や子育て世帯に対する給付、保育料の無償化などを行いました。

経済対策に要した費用 4,572万円

市内の飲食店への支援として利用料金の半額補助や、中小企業などの事業者に対する支援を行いました。

財政の健全化判断比率・資金不足比率

令和2年度の中央市財政運営の健全度を示す「健全化判断比率」と公営企業の「資金不足比率」をお知らせします。

実質赤字 比率	連結実質赤字 比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
— (13.66%)	— (18.66%)	8.2% (25.0%)	23.6% (350.0%)

※実質赤字比率、連結実質赤字比率はありません。

※()内は早期健全化の基準となる比率です。

公 営 企 業 会 計 の 名 称	資金不足比率	経営健全化基準
上 水 道 事 業 会 計	—	20.0%
簡 易 水 道 事 業 会 計	—	20.0%
公 共 下 水 道 事 業 会 計	—	20.0%
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	—	20.0%

※資金不足比率はありません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」とは？

地方公共団体は、毎年度、健全化判断比率などを監査委員の審査に付したうえで議会に報告するとともに、公表することが義務づけられています。

財政破綻の未然防止として「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」および公営企業会計における「資金不足比率」の各指標を算定し、早期健全化基準を1つでも超えた場合は「早期健全化団体」に移行し、財政健全化計画の策定や外部監査が義務づけられます。財政が更に悪化し「財政再生団体」に移行すると国の関与がより強まることとなります。

中央市は、昨年度に引き続きいずれの比率も基準を下回っています。